東京学芸大学
学大スポーツ
発行所 〒164-0013
東京都中野区
弥生町4-11-15
学大スポーツ新聞社
03(3381)1457

女子柔道
東学大、竜谷大に1対1の大熱戦
代表戦でやぶれるも、ベスト16に

（平成30年度全日本学生柔道優勝大会）柔道団体戦で、大学日本一を争う全日本学生優勝大会は、6月23日～24日、日本武道館で行われ、女子5人制は山梨学院大が5年連続9回目の優勝をはたした。女子5人制に出場した東京学芸大は、2回戦に広島大に4対0で勝ったが、3回戦の竜谷大にはし対1、代表戦でおしくもやぶれた。

▼2回戦
東京学芸大 4－0 広島大
伊沢星花○指導3 藤本凌
高野綺海 引分け 島谷真央
吉本朝香○合わせ技3 5秒
馬崎かれん
飯島彩加○不戦勝
佐々木ちえ○一本背負投
磯崎佳歩

▼3回戦
竜谷大 1－1 東京学芸大
出村花恋 引分け 高野綺海
黒木七都美 引分け 伊沢星花
小林幸奈 3分15秒○飯島
反則負け 彩加
米沢夏帆 2分4秒○吉本
反則負け 朝香
村井惟衣 引分け 佐々木ちえ

◀女子5人制で、竜谷大と対戦する日本学芸チーム（手前）

▲日本武道館の試合場。観客席からもあつい声援がおくられた。

・代表戦
村井惟衣 2分52秒 佐々木ちえ 棄権勝ち

竜谷大はこのあと決勝まで勝ち進んだが、山梨学院大に2対1でやぶれた。東京学芸大は、女子3人制でも優勝しているが、5人制に進出してから苦闘が続いていたが、今回はベスト16入りとなった。

サッカー
東学大、前期最終戦で勝ち点3
関東大学サッカーリーグ戦（2部）

▼7月1日 立教大富士見総合G
東京学芸大 3（2－0、1－2）2 立教大

・得点者 8分千葉（A宮地）35分宮地（A一木）72分高橋滉也
・シュート数 東学大7 立教大6

東学大は前半2対0とリード、後半58分にコーナーキックから失点するが、72分4年の高橋滉也が、けがから復帰後初ゴールを決める。前期の最終戦を勝って終わることができたことで、後期さらに上位をめざすきっかけができた。

〈東京地区国公立大会〉
・野球の決勝戦（6月24日）
東京学芸大 0000123 0000 0
東京大 0300102 0000 1×
7×6（延長10回）

（前期の順位表）

1位	中央大	26
2位	立教大	24
3位	日体大	19
4位	立正大	18
5位	関東学院大	17
6位	東京学芸大	15
7位	青山学院大	14
8位	東海大	13
9位	慶応大	11
10位	拓殖大	10
11位	神奈川大	8
12位	東農大	6

・ラグビーの決勝戦
6月17日 一橋大グラウンド
東京学芸大 34（21－8、22－21）29 一橋大
2回に3失点するも、ヒットを重ねて、一時は逆転も。

バレーボール
男子、筑波大に2対3
東日本バレーボール大学選手権大会

6月21日から24日まで、墨田区総合体育館などで行われ、男子トーナメントでは、早大が3年ぶり、3回目の優勝をはたした。

▼1回戦
東京学芸大 3（25－14、25－17）0 東北福祉大

▼2回戦
東京学芸大 3（25－13、25－21、25－16）0 福島大

▼3回戦
筑波大 3（27－25、25－23、18－25、16－25、15－12）2 東京学芸大
4セットを終わって2対2。あと一歩でやぶれた。

〈女子トーナメント〉
▼1回戦
富山大 3（25－7、25－10、25－20）0 東京学芸大

本学1年の小野翔平（1）がU－20男子バレーボールアジア選手権の日本代表選手に選ばれた。7月21日から28日までバーレーンで行われるU－20アジア選手権大会に出場する日本代表チームに選出された。

アイスホッケー
秩父宮杯 関東大学選手権
東学大Cグループ準優勝

▼6月24日 ダイドードリンコ・Cグループ決勝戦
東京理科大 1－0 東京学芸大
シュート数 東京理科大13
東学大は攻めのプレーを続けたが、相手の守りもかたかった。上級生数名が不在のなか、健闘したので、秋のリーグ戦の期待が高まった。

東京学芸大 13
優勝を目標にしていたが、1ピリ残り3分のところで、フェイスオフのあと相手のFWが中に切りこんできて、シュートを決められた。2ピリ、3ピリと東学大は攻めのプレーを続けたが、相手の守りもかたかった。上級生数名が不在のなか、健闘したので、秋のリーグ戦の期待が高まった。

水泳
女子は対抗得点111点で優勝。
東部地区国公立大学水泳選手権大会

6月16日～17日、銀河アリーナで行われ、女子は111点をあげ優勝、男子は29点で8位だった。

〈女子のおもな記録〉
・200メートル自由形 1位 船木菜々子 2分12秒14
・400メートル自由形 1位 船木 4分36秒11
・50メートル自由形 1位 高浜美咲希 27秒36
・100メートル自由形 1位 高浜美咲希 1分9秒97
・400メートル個人メドレー 3位 本間貴紫 2分13秒71

〈男子のおもな記録〉
・400メートル自由形 4位 水越勇人 4分17秒00
・200メートル個人メドレー 3位 本間貴紫 2分13秒71

陸上競技
・国立四大学（埼玉大、群馬大、東京大、東京学芸大）対校陸上競技大会
7月8日 大井ふ頭海浜公園
▼男子4×400メートルリレー
東京学芸大（池内、狩野、田辺、吉田）3分11秒30 大会新

これからの予定
〈サッカー・全日本大学サッカートーナメント関東予選〉
7月14日 10時 対立正大 時之栖スポーツ

おもしろの広場
▼女子5人制の学芸大チームの試合運びは、きびきびした動きで見ていても、気持ちがよかった。
▼それにしても、「柔道団体戦」のきびしさを痛感した。男子7人制をふくめて、接戦が多く、僅差の試合が多かった。▼本学と強豪竜谷大の試合も、ポイントゲッターの中堅・飯島が1勝をあげるも、竜谷大の米沢も勝って1対1。代表戦となって、試合を終えたばかりの佐々木がふたたび登場したが、3分あまりのところで立ち上がれない。（左の写真）
▼佐々木は広島大戦でも体重差のある磯崎に一本勝ちしているので、体力も限界だったことだろう。▼今後の活躍を期待したい。